

議 事 録 ～要約版～

会 議 名	第 3 回美祢市本庁舎整備検討委員会			
開 催 日 時	平成 29 年 10 月 30 日 13:30～16:00			
開 催 場 所	美祢市民会館 2 階第 1・2 会議室			
委員出席者	秋 枝 秀 稔	○	倉 永 健 造	○
	戎 屋 昭 彦	○	小 林 法 子	
	猶 野 智 和	○	河 村 達 丸	○
	井 上 敏 雄	○	谷 仁 史	○
	北 村 ひかり	○	内 藤 貴 志	
	杉 本 智	○	内 藤 正 太	○
	内 田 文 雄	○	藤 岡 周 志	○
	加 藤 久 雄	○	松 田 龍 信	○
	阿 野 太 助		石 田 淳 司	○
	伊 賀 信 之	○	藤 澤 和 昭	○
出席 17 名／欠席 3 名				
事務局出席者	総務部長 田辺 剛		総務課長 佐々木 昭治	
	本庁舎整備推進室長 松野 哲治		本庁舎整備推進室長補佐 倉増 裕	
	本庁舎整備推進室係長 藤本 永			
内 容				
1 開会あいさつ	内田会長あいさつ			
2 前回の質問について (1) 別候補地の可否	<p>事務局説明。</p> <p>質疑は以下のとおり。</p> <p>委 員 前回も話があったが、河川の氾濫の可能性を考慮して、旧大嶺高の跡地は候補地として考えられないのか。</p> <p>事務局 旧大嶺高校については、消防署の移転の予定がある。庁内検討委員会においても、直接市民の生命、財産を守る消防署を優先したいとしている。</p> <p>委 員 その場合、消防署と隣接して建設することはできないのか。</p> <p>事務局 他市では隣接している事例も多い。事業費の面、他の市施設との距離面、利用者の利便性などを考えると、現庁舎付近の方がより良いという判断をしている。</p> <p>委 員 生命、財産の保護よりも利便性をとるのはナンセンスだと考えるが。また、街づくりのランドデザインが不明瞭で、場所と価格だけの資料では判断することが難しい。</p>			

議 事 録 ～要約版～

<p>3 審議事項</p> <p>(1) 本庁舎建て替え候補地の検討</p>	<p>事務局 直接市民を守る消防施設を高台の旧大嶺高校にすべきと考えた。委員会で旧大嶺高校も候補地として挙げるべきとの意見があれば、当然選択肢の中に入れる。</p> <p>会 長 グランドデザインについては、当然考慮されていると思うが、本委員会の資料にはそこまで掲載されていない。次の議論の中で検討していきたい。</p> <p>事務局説明。</p> <p>質疑は以下のとおり。</p> <p>委 員 議員で話し合った意見としては、新庁舎建て替えの方向について異存はない。ついては、財政計画についての説明を聞きたい。また、他の補助の活用することで、もう少し検討に時間を費やすことができないか。議員の中では、慎重な意見も出ている。</p> <p>事務局 財政計画については、本庁舎整備、消防防災センターの整備、その他将来見込まれる改修等の大規模事業を含めた案を作成しており、近い内に議会にお示しすることとしている。</p> <p>委員が言われる補助については、市町村役場機能緊急保全事業のことだと思うが、これは期限が平成 32 年度末までとなっている。また、これは起債となり、充当率が 90%、起債対象事業費の 75%のうち 30%が交付税措置されるもの（交付税措置率 22.5%）で、合併推進債の活用と比べると、市の財政にとっては有利なものではない。なお、合併推進債を活用した場合は、充当率 90%で、交付税措置は起債対象事業費の 40%となっている（交付税措置率 36%）。</p> <p>会 長 期限について、両者を比較するとどうなるのか。</p> <p>事務局 市町村役場機能緊急保全事業は平成 32 年末までに完成しないまでも、その翌年繰越までとなる。一方、合併推進債は、新規基本計画の期間延長をした場合は平成 34 年度までとなる。</p> <p>委 員 期限を決められ、お得ですよと言われても、これだけの金額のものを急いで決めなくても良いのではないか。事業費についても示されているような規模の施設が必要なのか。補助も将来新しいも</p>
--	---

議 事 録 ～要約版～

	<p>のが出てくるのではないかと。そもそもこの事業費は美祢市に耐えられるものなのか。時間をかけて慎重に進めた方が良いのではないかと。</p>
事務局	<p>財政の支援措置については、過去の例を見ても、庁舎建て替えに関するものは今後無いのではないかと考えている。事業費の比較については、場所、機能など、その前提条件によって大きく変わり比較は困難と考える。事務局としても、検討は慎重にすべきとの認識は持っている。</p>
委 員	<p>資料のお願いになるが、人口や商工状況、産業などの状況について、10年後程度までは推定できるのではないかと思う。そういった資料があれば具体的な意見が出せると思うが。</p>
事務局	<p>次回、ご提示したい。人口については、前回の資料「美祢市公共施設等総合管理計画基本方針」の中に記載されている。ただし、産業については、確認はしてみるが、推計したものは無かったと思う。</p>
委 員	<p>教育委員会が議会に対して提示した計画は、10年後、20年後の状況を見越して、小規模なものを作り、現状は現存施設を活用するといった計画であった。こういった考え方も取り入れていただきたい。また、提示されている事業費にはランニングコストは含まれていない。維持管理費も考えなければいけないので、その資料もお願いしたい。</p>
事務局	<p>財源、規模については、次回審議していただく予定としている。ランニングコストについては、現在の案では、現庁舎と同規模のものを建築としているので、設備等が新しくなるとすれば、現在のコストよりも安くなると考えている。</p>
委 員	<p>議論が戻っている気がする。今の話の流れは、建て替えをしないように話をしているように感じる。規模の縮小という意見も出たが、現在必要な規模のものを建てれば良い。学校などで、数年後に児童が減少するからといって、今は窮屈でよいというようなことはしないと思う。</p>
委 員	<p>4番の候補地は、1番から3番が仮に浸水したときにも、浸水しないのか。また、近くに土石流の危険区域があるが、距離はどの程度あるのか。</p>
事務局	<p>仮に1番から3番が1m程度の浸水が発生した場合</p>

議 事 録 ～要約版～

合でも、4番については浸水は無いと考えている。土石流の危険区域との距離は、近いところで70m程度、遠いところで150m程度となる。危険区域だけではなく、下流では当然、土石流の危険性はある。

委 員 昨今の気象状況では、やはり旧大嶺高校を候補地として入れるべきではないか。

事務局 消防防災センターの計画で残地があれば隣接も検討できるが、消防もそこまで計画していないため、現状では検討は難しい。

委 員 浸水に関する資料で他市の状況が記載されているが、美祢市はどの程度をラインとするのか。

事務局 美祢市としては、お示しした候補地が浸水1m未満と想定されていることから、1m程度までの対応ということで考えている。

委 員 美東町役場でも一度建て替えの話があったが、庁舎は市町村の財産であることから、市町村役場を建て替えるという補助は過去無かった。おそらくこれからも無いと思う。今回の合併債は特別で、震災に関連する補助よりも補助率は良い。私はこれを活用すべきと考える。

委 員 資料中の有効敷地面積について、前回の資料と今回の資料の面積が異なっている。借地部分の差であると思うが、借地はどの部分になるか。

事務局 数値の差については、市民会館、第1別館及び図書館の面積になる。

委 員 商工会が本庁舎の中に入るということは可能か。

事務局 商工会から要望があれば検討する。

候補地に関して、各委員の意見を聴取。意見は以下のとおり。

- (1) 各種イベントを考慮し、現在地は駐車場として活用してはどうか。
- (2) 商工会との複合施設としてはどうか。
- (3) 利便性を考えると、駅に近い方が望ましい。
- (4) 都市計画マスタープランの考えを取り入れた方が良い。
- (5) 利用者の立場から選定を行うべき。
- (6) 現在の町は現庁舎を中心に作られてきたように見え、現庁舎の位置が市街地の「へそ」となっている。また、国道に面し、横長の敷地であるなど、将来性を

議 事 録 ～要約版～

<p>(2) 本庁舎整備の形態</p>	<p>考えると現在地が望ましい。</p> <p>(7) 市民会館と本庁舎との連携を考えると、現在地が望ましい。また、現在地であれば消防防災とのリスク分散も可能となる。</p> <p>(8) 本庁舎は、市のシンボルとなる。主要道路に面していた方が良い。</p> <p>事務局説明。</p> <p>質疑は以下のとおり。</p> <p>委 員 合併時の約束事はあったか。分庁舎方式か本庁舎方式かをここで結論を出さなければならないのか。</p> <p>事務局 協定書にはない。方式については、意思確認として結論を出していただきたい。</p> <p>会 長 私の知る限りでは、合併直後に分庁舎方式としていたが、最終的には本庁舎方式になったという事例が多い。美祢市としては、資料にあるとおり、本庁舎方式を基本として、必要に応じて一部組織を分散配置するとしている。これは、2つの総合支所と13の公民館にどういう機能を分担して全体の行政を推進していくのかということになる。その上で、今後の本庁機能がどこまで必要かということを経験していくという理解で良いかと思う。</p> <p>事務局 この件については、他市でもこの問題は一度は議論されている。そのほとんどが本庁舎方式となっていたと記憶している。</p> <p>会 長 私の故郷の熊本県八代市では、広域合併で分庁方式で始まったが、震災で庁舎が被害を受け、建て替えとなったときには本庁舎方式に変更された。</p> <p>委 員 繰り返しになるが、私は、当初はコンパクトなものを作り、はみ出した部署は当面分庁の形を取り、将来人口が減っていったときに、それに見合ったものになればという考えがある。また、観光部門については当然秋芳町、農業部門については、農業地は郡部が6割を占めているわけであるから、本庁に集中するのはおかしい。最もニーズがある場所にその部署があるという形も合理的であると考え。</p> <p>事務局 現在、本庁以外に配置している施設を資料に記載</p>
---------------------	--

議 事 録 ～要約版～

<p>(3) 本庁舎機能の複合化</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会あいさつ</p>	<p>しているが、ここに掲げている施設の職員は、今後の本庁舎の規模を考えるにあたりカウントはしていない。つまり、配置を変えることは考えていない。観光総務課についても、秋芳洞、秋吉台に近い場所が適切であると認識している。</p> <p>事務局説明。</p> <p>質疑は以下のとおり。</p> <p>委員 複合化は必要であると思う。規模は大きくなるが、費用はPFI、PPPを活用すれば良いと思う。</p> <p>会長 資料の中の哲西は有名で、診療所も入っており、新しい暮らしの中心を作っていこうという試みとして注目された。美祢市も、美祢らしい複合施設ができると、より魅力的な庁舎になると思う。これは今後検討を重ねていくことになるが、方向性としては複合化を進めるということで理解をしてよいかと思う。庁舎の複合化は多様になっており、その中で美祢市の独自性をどのように出していくかが大きな課題であることを認識し協議を重ねていきたい。</p> <p>次回の委員会開催は12月中旬を予定。</p> <p>審議事項は、規模の確認、整備方法の検討（民間活力の活用など）及び財源となる。</p> <p>田辺総務部長あいさつ</p>
---	--